

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4191200064		
法人名	九州メディカル・サービス株式会社		
事業所名	グループホーム安心しらかべ		
所在地	佐賀県三養基郡みやき町大字白壁244番地1		
自己評価作成日	令和2年3月10日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和2年3月27日	外部評価確定日	令和2年5月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>入居者本位の介護を第一としており、その人がその人らしくご本人様のペースで楽しく生きがいをもち過ごして頂けるように援助を行っている。施設として地域との交流を大事にし地域の行事に参加したり、消防訓練や夏祭りなど大きな行事の際には近隣の方をお招きし参加して頂いている。</p> <p>日々の生活の中に、楽しみや生きがいを持って生活を送って頂けるようにレクリエーションや行事、毎月、踊りや傾聴ボランティアの方に訪問して頂きご利用者も楽しみにされている。</p> <p>又、理学療法士と連携し生活機能の向上に取り組んでいる。</p> <p>医療面では協力医療機関である仁徳会今村病院と訪問看護ステーション安心との連携により、ご利用者の健康面や急変時の迅速な対応が出来、安心して生活を送れるように過ごして頂いている。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>周囲は商業施設、田んぼがあり、車の往来が多いが事業所内は外部の騒音は気にならない。利用者は静かな環境の中で思い思いに過ごされている。玄関正面には「愛」の色紙が目につき、季節の飾り、お地藏様が置かれホッとす。職員同志、利用者職員とのコミュニケーションも良く、男性職員4名で心強く、休日も取り易く、職員の入れ替わりも少なく、働き易い事業所である。利用者の急変等法人の病院との連携が出来、健康面、医療面において家族、職員も心強く安心である。</p>
--

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼時に職員全員で理念の唱和を行い、理念を念頭に業務に取り組んでいる。	朝礼時に職員全員で理念の唱和を行い、理念を念頭に業務に取り組んでいる。	2年前これまでの理念を基に職員で現代に沿うよう皆で考え見直しされた。その中で笑顔と楽しい雰囲気を作り出す努力がされている。リビングに掲示され、唱和を行い、困った時、悩む時に理念に振り返るようにしている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎月、傾聴ボランティアや踊りの訪問に来て頂き交流を図っている。又、時節の行事の際もボランティアの方をお招きし楽しんで頂いている。	毎月、傾聴ボランティアや踊りの訪問に来て頂き交流を図っている。又、時節の行事の際もボランティアの方をお招きし楽しんで頂いている。	自治会に加入しているため、町内の行事の情報を知ることが出来る。町内の夏祭りに参加し、ひな祭りには幼稚園児や町内のボランティアの訪問があり、みかんを頂いたり交流がある。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の際に、ご家族や地域の方、行政の方に参加して頂き情報交換を行い認知症の理解や支援に努めている。	運営推進会議の際に、ご家族や地域の方、行政の方に参加して頂き情報交換を行い認知症の理解や支援に努めている。	/	/	
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、施設の事業計画や行事、ご利用者の近況報告を行っている。参加して頂いた方には発言をしやすいように一人一人声をかけている。会議の中で頂いた意見や情報を元に職員で話し合いサービス向上に繋がるように努めている。	運営推進会議では、施設の事業計画や行事、ご利用者の近況報告を行っている。参加して頂いた方には発言をしやすいように一人一人声をかけている。会議の中で頂いた意見や情報を元に職員で話し合いサービス向上に繋がるように努めている。	会議に家族の参加を必要とし案内を配布しているが参加者は少ない。意見や要望は面会時に聞くことが多い。防災訓練後には消防署の職員や参加者との交流がある。家族同士も話されている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村や地域包括支援センターの方と情報交換を行い、協力関係の構築に努めている。定期的開催されるネットワーク会議に参加し事業所の実績やサービスを伝えられるように取り組んでいる。	市町村や地域包括支援センターの方と情報交換を行い、協力関係の構築に努めている。定期的開催されるネットワーク会議に参加し事業所の実績やサービスを伝えられるように取り組んでいる。	行政の会議や運営推進会議に参加し、事業所の実績報告を行っている。情報交換や保険制度の改正、空き情報等気軽に相談出来る。管理者は意見が出易いよう声掛けをしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について、外部の研修や施設内で勉強会、身体拘束廃止委員会を行いどのような行為が不適切なケアに繋がるのか事業所全体で理解を深めている。	身体拘束について、外部の研修や施設内で勉強会、身体拘束廃止委員会を行いどのような行為が不適切なケアに繋がるのか事業所全体で理解を深めている。	外部の研修と3か月に1回事業所での研修がある。具体的な例をあげながら言葉の拘束にも注意している。研修により禁止や弊害について理解され共有されている。これまでに拘束の経験はない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止について、外部の研修や施設内で勉強会を行い事業所全体で理解を深めている。朝礼時やカンファレンスの際も伝達し細心の注意を払い虐待防止に努めている。	虐待防止について、外部の研修や施設内で勉強会を行い事業所全体で理解を深めている。朝礼時やカンファレンスの際も伝達し細心の注意を払い虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修に参加したり施設内での勉強会を行い職員の学ぶ機会を設けている。	外部研修に参加したり施設内での勉強会を行い職員の学ぶ機会を設けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居の希望があれば事前に施設見学や十分な説明を行ない双方が納得の上で契約を行っている。	入居の希望があれば事前に施設見学や十分な説明を行ない双方が納得の上で契約を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議やサービス担当者会議、ご家族の面会時にはご意見や要望を伺っている。 玄関に意見箱を設置し意見や要望が出やすいようにしている。	運営推進会議やサービス担当者会議、ご家族の面会時にはご意見や要望を伺っている。 玄関に意見箱を設置し意見や要望が出やすいようにしている。	事業所での行事やケアプラン更新の際、家族の集まりの折には家族同士話し合っている。運営推進会議録と請求書、アンケートの結果は家族に報告されている。玄関に意見箱を置いているが利用はない。面会時に現状を伝え、意見を聞いている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のカンファレンスや意見の提案があればその都度、話し合いを行っている。 その時に出了、意見や要望を運営に反映できるように取り組んでいる。	毎月のカンファレンスや意見の提案があればその都度、話し合いを行っている。 その時に出了、意見や要望を運営に反映できるように取り組んでいる。	月1回のカンファレンスに意見は出る。業務問題やその場で思った事、感じた事を議題にし、職員で話し合い物品購入等出来る事から改善されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	外部研修に参加の希望があれば対象者に参加を促したり、可能な限り勤務時間内に参加ができるようにし、働きやすい環境を提供できるようにしている。	外部研修に参加の希望があれば対象者に参加を促したり、可能な限り勤務時間内に参加ができるようにし、働きやすい環境を提供できるようにしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個人にあった研修や必要と思われる研修があれば声掛けし参加できるような機会を設けている。研修に参加した際は他の職員へ向け勉強会を開催し個々のスキルアップできる場を提供している。	個人にあった研修や必要と思われる研修があれば声掛けし参加できるような機会を設けている。研修に参加した際は他の職員へ向け勉強会を開催し個々のスキルアップできる場を提供している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内での相互訪問や、地域で行われるネットワーク会議に参加し交流を深め情報交換を行ないサービスの向上に努めている。	法人内での相互訪問や、地域で行われるネットワーク会議に参加し交流を深め情報交換を行ないサービスの向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	職員一人一人が担当を持ち、コミュニケーションやご利用者の状態を把握する事で安心して過ごして頂けるように職員全体で取り組んでいる。	職員一人一人が担当を持ち、コミュニケーションやご利用者の状態を把握する事で安心して過ごして頂けるように職員全体で取り組んでいる。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人や家族の要望、意見を事前にしっかりと聞き、施設として説明を行ない家族の希望に沿ったケアが出来るように努めている。	本人や家族の要望、意見を事前にしっかりと聞き、施設として説明を行ない家族の希望に沿ったケアが出来るように努めている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族と話し合いを行ない、計画作成担当者を中心に全職員で話し合い、必要な支援を提供出来るように努めている。	本人や家族と話し合いを行ない、計画作成担当者を中心に全職員で話し合い、必要な支援を提供出来るように努めている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者と職員一緒に作業を行ったり、役割を持って過ごす事ができるようにしている。 又、出来る事は可能な限り本人に行って頂き、本人本位の支援を提供出来るように努めている。	ご利用者と職員一緒に作業を行ったり、役割を持って過ごす事ができるようにしている。 又、出来る事は可能な限り本人に行って頂き、本人本位の支援を提供出来るように努めている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の要望や意見を聞いたり、施設での状況を報告し情報を共有する事で共にご利用者を支えていける関係作りに努めている。	家族の要望や意見を聞いたり、施設での状況を報告し情報を共有する事で共にご利用者を支えていける関係作りに努めている。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居時に本人や家族から得た情報を元に、馴染みの方と関係が途切れないように、年賀状や外出支援を行っている。	入居時に本人や家族から得た情報を元に、馴染みの方と関係が途切れないように、年賀状や外出支援を行っている。	家族、知人等面会は多く居室で面会されている。その際にはお茶の接待をし、ゆっくり出来る様に見守っている。携帯電話を持っている方もあり、操作の際には職員が支援し、家族との連絡が出来ている。外出は家族の協力により行きつけの美容院やお墓参りに出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎朝の体操やレクリエーション、行事などを通して、コミュニケーションの機会を増やし交流が図れるようにしている。	毎朝の体操やレクリエーション、行事などを通して、コミュニケーションの機会を増やし交流が図れるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も施設行事のご案内をし、必要に応じて継続的に連絡を行うように努めている。	退去後も施設行事のご案内をし、必要に応じて継続的に連絡を行うように努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者一人一人に担当を決め、ご利用者の希望や要望の把握に努めている。困難な場合には日常のケアや状態観察、家族からの情報収集を行い出来るだけ本人本位に検討している。	ご利用者一人一人に担当を決め、ご利用者の希望や要望の把握に努めている。困難な場合には日常のケアや状態観察、家族からの情報収集を行い出来るだけ本人本位に検討している。	担当制をとっており、お風呂や日常の会話の中で表情や行動等から思いを知る事もあり、大切に聞き取り共有しケアに繋げている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の話を傾聴したり、家族の方より話を伺うことで個々の生活歴の把握に努めケアに反映できるようにしている。	本人の話を傾聴したり、家族の方より話を伺うことで個々の生活歴の把握に努めケアに反映できるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝礼時の申し送りや、状況を記録に残しカンファレンスや職員間での情報交換を行い、現状を把握した上で適したケアに努めている。	朝礼時の申し送りや、状況を記録に残しカンファレンスや職員間での情報交換を行い、現状を把握した上で適したケアに努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族の意見や要望を把握・確認し職員や関係者で話し合いを行い本人本位の介護計画を作成している。又、定期的にモニタリング評価を見直しを行っている。	本人、家族の意見や要望を把握・確認し職員や関係者で話し合いを行い本人本位の介護計画を作成している。又、定期的にモニタリング評価を見直しを行っている。	担当者を決め、日々の関わりの中で聞き取った用件や、申し送りノートを参考に、家族の参加で要望を聞き本人本位のプラン作成である。変化があればその都度話し合っている。記録もタブレットを使用し広範囲での情報が得られている。モニタリングは細やかに記録されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録や業務日誌等日々の記録を行ない、職員間で情報の共有を行っている。又、日々の記録は介護計画に活かしている。	個人記録や業務日誌等日々の記録を行ない、職員間で情報の共有を行っている。又、日々の記録は介護計画に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	関係医療機関と連携し可能な限り柔軟な支援サービスを実施出来るように取り組んでいる。	関係医療機関と連携し可能な限り柔軟な支援サービスを実施出来るように取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事に参加し楽しんで頂けるように取り組んでいる。	地域の行事に参加し楽しんで頂けるように取り組んでいる。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医がある場合は継続できるよう説明を行っている。本人や家族の希望があれば協力医療機関の在宅総合診療を利用し適切な医療の提供が受けれるように支援している。	かかりつけ医がある場合は継続できるよう説明を行っている。本人や家族の希望があれば協力医療機関の在宅総合診療を利用し適切な医療の提供が受けれるように支援している。	入居時に家族の希望での受診を決めているが協力医での受診が多い。往診は月2回以上。訪問看護は主治医と相談しながら状態確認のため週1回の訪問がある。眼科、皮膚科の受診は家族の支援である。緊急の場合は必要に応じ職員が同行し、結果は家族に報告される。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ご利用者の状態観察を行い、状態の変化が見られた際は、訪問看護師と連携を図り適切な対応が出来るように指示を仰ぎ支援している。	ご利用者の状態観察を行い、状態の変化が見られた際は、訪問看護師と連携を図り適切な対応が出来るように指示を仰ぎ支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時の際は情報交換を密に行うようにしている。入院時は職員が面会へ行き情報交換を行ない、早期退院へ向け話し合いを行っている。	入退院時の際は情報交換を密に行うようにしている。入院時は職員が面会へ行き情報交換を行ない、早期退院へ向け話し合いを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化や終末期について本人や家族の意思を確認している。ご利用者の状態変化に応じてその都度、家族や医師、職員全員で方針を共有している。	入居時に重度化や終末期について本人や家族の意思を確認している。ご利用者の状態変化に応じてその都度、家族や医師、職員全員で方針を共有している。	入居時に重度化について説明され、本人、家族と医師と話し合い同意書を作成。看取りの経験はされている。不安を与えないように主治医と、家族は話し合い、訪問看護とも連絡が取れている。緊急時の対応は法人が病院であり、いつでも相談出来、家族や職員は心強く安心である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルを作成し、緊急時の連絡先や対応を職員全員で把握している。	緊急時マニュアルを作成し、緊急時の連絡先や対応を職員全員で把握している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、消防訓練を実施しより実践に近い形で消防の方に立ち会って頂いたり、区長や地域の方に参加して頂いている。	年に2回、消防訓練を実施しより実践に近い形で消防の方に立ち会って頂いたり、区長や地域の方に参加して頂いている。	消防署の指導で年2回夜間想定 of 訓練を利用者全員参加と町内住民参加の訓練である。参加者と意見交換や問題点について、反省会も行われる。避難場所は家族も周知されている。備蓄は法人に用意されている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇の外部研修や勉強会を行い、特に言葉遣いに注意し、一人一人に合わせた声掛けや対応に配慮している。	接遇の外部研修や勉強会を行い、特に言葉遣いに注意し、一人一人に合わせた声掛けや対応に配慮している。	接遇の研修に参加している。その人に合った言葉使いになっているか、分かり易く伝わっているか、佐賀弁も上手く使い理解してもらっている。写真は家族の了解を得て掲示されている。個人情報についても理解され、きちんと保管されている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々の思い、希望を日々の中で聞き取りその人に合ったサービスを提供出来るように努めている。	個々の思い、希望を日々の中で聞き取りその人に合ったサービスを提供出来るように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度の活動の時間を決めていますが、参加は強制せずに本人の思いを尊重している。	ある程度の活動の時間を決めていますが、参加は強制せずに本人の思いを尊重している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問美容に来て頂き、その人らしい身だしなみが出来るように支援している。	定期的に訪問美容に来て頂き、その人らしい身だしなみが出来るように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材と献立についてはクックチルシステムを導入している為、あらかじめ決まっているが食器洗いや台拭きお盆拭きなどお手伝いして頂いている。	食材と献立についてはクックチルシステムを導入している為、あらかじめ決まっているが食器洗いや台拭きお盆拭きなどお手伝いして頂いている。	食材は外部から取り寄せになり、利用者の手伝いは少なくなったがレクリエーションでは利用者と職員でおやつ作りが出来る。ミキサー食、刻み食等その人に合わせ食べ易く対応されている。職員は同じ物は食べてないが中に入り声掛けし、介助しながらの食事である。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の水分量や食事量の記載をしている。摂取量が少ない方がいれば、医師に相談し必要に応じて高カロリー食品で補ったり、家族の方協力のもと、本人の好む食べ物や飲み物を提供し支援している。	一人一人の水分量や食事量の記載をしている。摂取量が少ない方がいれば、医師に相談し必要に応じて高カロリー食品で補ったり、家族の方協力のもと、本人の好む食べ物や飲み物を提供し支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後はご利用者の方に応じた方法で口腔ケアを行ない、清潔保持に努めている。必要に応じて訪問歯科に往診に来て頂き口腔内の確認を行っている。	食後はご利用者の方に応じた方法で口腔ケアを行ない、清潔保持に努めている。必要に応じて訪問歯科に往診に来て頂き口腔内の確認を行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表を使用し排泄パターンを把握し、トイレの排泄を基本としご利用者に合った排泄支援を心がけている。	排泄表を使用し排泄パターンを把握し、トイレの排泄を基本としご利用者に合った排泄支援を心がけている。	排泄チェック表によりタイミングで誘導し見守っている。日中はトイレでの排泄支援である。夜間はポータブルトイレを使用し、センサーマットで確認している。自立に向かい支援されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、乳製品の提供を行っている。又、毎朝体操や運動を行ない体を動かすことにより便秘の予防に努めている。	毎朝、乳製品の提供を行っている。又、毎朝体操や運動を行ない体を動かすことにより便秘の予防に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	原則的に週に2回以上の入浴日を設けているが、状況に応じていつでも入浴が出来るようにしている。体調やプライバシーに配慮しながら入浴が楽しめるようにしている。	原則的に週に2回以上の入浴日を設けているが、状況に応じていつでも入浴が出来るようにしている。体調やプライバシーに配慮しながら入浴が楽しめるようにしている。	入浴剤を使い気持ち良く入浴されている。身体状況に合わせてシャワー浴、足浴、清拭で対応している。この時間に思いを聞くことも出来、ゆっくりした時間である。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その時々状況に応じて休息できるように、声かけを行い安心して睡眠が取れるようにしている。	その時々状況に応じて休息できるように、声かけを行い安心して睡眠が取れるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師が週に一度施設を訪問し情報交換や服薬指導を行っている。安全に服薬が出来るように薬剤師や訪問看護師と連携し、変更や注意点があれば記録や申し送りを行い服薬支援が行えるようにしている。	薬剤師が週に一度施設を訪問し情報交換や服薬指導を行っている。安全に服薬が出来るように薬剤師や訪問看護師と連携し、変更や注意点があれば記録や申し送りを行い服薬支援が行えるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割を持ちお手伝いをして頂いたり、レクリエーションや毎月行事や外出レクを行い楽しみや気分転換が出来るようにしている。	役割を持ちお手伝いをして頂いたり、レクリエーションや毎月行事や外出レクを行い楽しみや気分転換が出来るようにしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎月、外出レクの計画をたて外出できるように支援している。ご利用者の希望を取り入れながら行き先を検討し楽しんで頂けるようにしている。	毎月、外出レクの計画をたて外出できるように支援している。ご利用者の希望を取り入れながら行き先を検討し楽しんで頂けるようにしている。	毎月外出計画がある。希望の場所へ車椅子や歩行困難な方も出来る限り全員で参加出来る様に工夫されている。定期的に家族の支援で家に帰宅される方もある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	近隣のスーパーに買い物出来る程度の金額は家族協力のもと自己管理をして頂いている。	近隣のスーパーに買い物出来る程度の金額は家族協力のもと自己管理をして頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状や、本人が希望されたり状況に応じて電話や手紙の代筆を行っている。	年賀状や、本人が希望されたり状況に応じて電話や手紙の代筆を行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた壁紙をフローアに飾り付けている。玄関のお地蔵様には毎日手を合わせるご利用者の姿もあり居心地よく過ごして頂けるようにしている。	季節に応じた壁紙をフローアに飾り付けている。玄関のお地蔵様には毎日手を合わせるご利用者の姿もあり居心地よく過ごして頂けるようにしている。	リビングの中央に大きな柱があり、落ち着いた雰囲気である。和風(帯)で季節の作品があり、職員手作りの大きな日めくりのカレンダー、ソファがある。畳の部屋もあり、職員の休憩や、利用者も利用がある。神棚やお地蔵様が祀られ、手を合わせる方もある。ユニットは廊下で繋がっており、障害物無く朝のラジオ体操等には廊下を通じ移動が自由に出来、安全に行き来されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースにはソファを設置したり和室など落ちついて過ごせる場所が提供出来るようにしている。隣のフロアへの行き来も自由にしており、ご利用者同士の交流が出来るようにしている。	共有スペースにはソファを設置したり和室など落ちついて過ごせる場所が提供出来るようにしている。隣のフロアへの行き来も自由にしており、ご利用者同士の交流が出来るようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはご利用者の使い慣れた家具や希望の作品を持ち込んで頂いたり、壁に写真やレクリエーションでの作品を飾ったりと居心地の良い環境作りに努めている。	居室にはご利用者の使い慣れた家具や希望の作品を持ち込んで頂いたり、壁に写真やレクリエーションでの作品を飾ったりと居心地の良い環境作りに努めている。	居室入口には大きな字で名前が張ってある。寝具は職員が朝たたみ、整理整頓されている。居室には整理たんす、テレビ、姿見、利用者の作品や家族の写真があり、お仏壇には毎朝お参りされている。その人らしく落ち着いた居室になっている。掃除は職員であるが、気分により利用者の手伝いもある。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や 「わかること」を活かして、安全かつできる だけ自立した生活が送れるように工夫して いる	本人や家族の同意のもと、各居室 にネームプレートを設置し、場所が 分かるように設置している。トイレや 浴室もそれぞれ分かるように明記し ている。	本人や家族の同意のもと、各居室 にネームプレートを設置し、場所が 分かるように設置している。トイレや 浴室もそれぞれ分かるように明記し ている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○		1. ほぼ毎日のように
			○	2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない